

第146回エイズ動向委員会
委員長コメント

《平成28年第2四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成28年3月28日～平成28年6月26日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は239件（前回報告250件、前年同時期267件）
そのうち男性232件、女性7件で、男性は前回（231件）より増加し、前年同時期（254件）より減少、女性は前回（19件）より減少、前年同時期（13件）より減少
3. 新規AIDS患者報告数は112件（前回報告102件、前年同時期118件）
そのうち男性100件、女性12件で、男性は前回（99件）より増加、前年同時期（114件）より減少、女性は前回（3件）より増加、前年同時期（4件）より増加
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は351件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが182件（全HIV感染者報告数の約76%）
 - 異性間性的接触によるものが31件（全HIV感染者報告数の約13%）
そのうち男性27件、女性4件
 - 静注薬物によるものは1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが56件（全AIDS患者報告数の50%）
 - 異性間性的接触によるものが32件（全AIDS患者報告数の約29%）
そのうち男性24件、女性8件
 - 静注薬物によるものは0件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、30～40代が多い。

【検査・相談件数の概況（平成28年4月～6月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（確定値）は21,080件
（前回報告確定値22,533件、前年同時期確定値24,031件）
自治体が実施する保健所以外の検査件数（確定値）は7,214件
（前回報告確定値7,170件、前年同時期確定値8,085件）
2. 保健所等における相談件数（確定値）は28,922件
（前回報告確定値30,253件、前年同時期確定値34,943件）

【献血の概況（平成28年1月～6月）】

1. 献血件数（速報値）は、2,429,770件（前年同時期速報値2,464,119件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は18件（前年同時期速報値27件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、0.741件（前年同時期速報値1.096件）

《まとめ》

1. 新規H I V感染者報告数及び新規A I D S患者報告数は前年同時期に比して減少した。
2. 保健所等におけるH I V抗体検査件数及び相談件数も前回、前年同時期に比して減少した。早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくため、今後保健所等の無料・匿名H I V抗体検査及び相談を積極的に利用していただきたい。
3. 新規H I V感染者は20～30代、新規A I D S患者は30～40代で報告数が多く、いずれも20～70代までの幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、H I Vに感染する可能性がある。コンドームの使用など、適切な予防策により感染を予防することが可能であり、重要である。